



# 肩こりの問題改善 臨床編 その1



## ❖はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。  
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## もくじ

1 : 神経性胃炎後の肩痛 .....	4
2 : マッサージで治らない慢性の肩こり.....	8
3 : 60歳を過ぎてから初めての筋力トレーニングで肩痛 に！！.....	13
4 : 緊張から来る肩こり .....	18
5 : 鞆を肩にかけて肩こり .....	21
6 : 久し振りに車を運転し、疲れてしまった。.....	26
7 : 肩が動きにくい .....	29
8 : ストレートネックで改善不能と言われた腰痛・肩こり .....	32
9 : 疲労による不眠と首肩のこり .....	36
10 : ラグビーかマウスで肩を痛める.....	40
11 : 肩こりが小さい頃から治らない原因は肝臓が…？	44

## ❖ 1 : 神経性胃炎後の肩痛

50代 女性

半年前に、息子さんが心も身体も病んでしまい、その心配でひどい神経性胃炎を起こし、入院。

ようやく退院すると、右肩の激痛で押しつぶされそうな感じ。

動かすこともままならない状態。

背中を診ていくと、まだまだ胃の状態は良くない。

それだけでなく、肝臓、心臓、腎臓の働きも弱っている。

特に肝臓の影響が強い。

これは、薬による影響だろう。

右肩は、肩甲骨が完全に固まっているが、むくみも強い。

まず、内臓の方から、鍼による治療を開始する。

すると、首は大分ほぐれてきて、肩周りのむくみも少し減少してきた。

仰向けになり、横隔膜中心にガッチリと固まっているお腹を、手足のツボに鍼を行いほぐす。

最後に、右側を上にして横向きに寝てもらい、右肩の運動針で肩周辺のこわばりを取り除く。

起き上がり、肩の状態を見てもらおうと「すごく軽くなった。」  
と言いながら、回せなかった腕をぐるぐる回している。

さらに、立ち上がり、「胃がスッキリした。治療の最中から、  
急にお腹に詰まっていたものが取れたような感じがした。  
久しぶりに、こんなお腹が軽くなった。」と非常に喜ばれた。

胃・肝臓・心臓の異常が起こると、筋肉が過緊張を起こす  
ことが多い。

この方は、息子さんの心配で心臓を弱め、胃炎の治療に使  
う薬の影響で、肝臓を痛めた。

結果、筋肉の異常を起こしてしまったのである。

右肩の意味はそれほどなく、どこに今回のような痛みが出

でもおかしくない。

病気になっていなくても、内臓の異常信号は必ず、身体や精神によって現れる。

これを見逃さず、治療できるのが東洋医学の素晴らしいところである。

## ❖ 2 : マッサージで治らない慢性の肩こり

30代 男性

元々肩こりをもっていて、つらくなるとマッサージを受けていた。

しかし、いつもその場限りで、家に帰る頃には、元の通りに戻っていた。

一ヶ月前から、肩こりがひどくなり、またマッサージを受けるが、まったく変化なく、「これは、鍼でも受けないとダメかな？」と思い来院。

うつ伏せで、背中をチェックしてみると、肩甲骨の間にある背骨が、前側に沿っている。



通常この位置の背骨は、背中側に少し丸まっているのが正常である。

このような歪みは、

1. 背中を反るような姿勢を続けている。
2. 後ろからの打撃、もしくは強い圧が加わったもの。
3. 元々、肺の弱さを持って生まれた身体である。

などが、考えられる。

そこで、入念に背骨をチェックすると、背骨に沿ってコリがあることがわかった。

これは、完全にこの部分の背骨を強く押さなければ、ならない現象である。

そこで、「マッサージでは、この辺を、いつも強く押してもらいますか？」と聞くと「はい、その辺がいつもつらくなるので。」という回答。

これで、完全に、マッサージによる肩こりであることがわかった。

そのため、まずこのコリを取るように鍼を行う。

そして、歪みを取るように鍼で調整後、仰向けになってもらう。

首と肩の動きの悪さを確認後、その調整を手足の鍼で行い、

その場で首を動かしてもらおう。

痛みもコリもなくなっているのを確認後、座ってもらって  
から再度、首や肩を動かしてもらおう。

そして、完全に肩こりがなくなっている、ということを確認  
してもらい終了とした。

今回のケースは、マッサージで、ある一定箇所を重点的に  
強く押していると、コリや歪みを作ってしまうという典型  
例だった。

筋肉は、一点を強く押さえられると、それに反発するよう  
に力が入ってしまう。

この力の入り方が何度も続くと、そのまま固まってしまい

《コリ》ができる。

そのコリをさらに、強く押していると、歪みができる。

人工的につくられた歪みやコリは、自然に治ることができない。

そのために、慢性化してしまうのである。

マッサージに行ったり、自分自身や他人にマッサージをしてもらう時は、一点集中ではなく、満遍無く押してもらうようにしよう。

## ❖ 3 : 6 0 歳を過ぎてから初めての筋力トレーニングで肩痛に！！

60代 女性

最近自宅近所に、スポーツジムができ、運動不足も気になっていたのので、即入会。

今まで一度も、運動らしい運動をしたことがなかったので、どのぐらいが自分の適量なのか分からないままスタート。

しかし、どんなにトレーニングしても、周りの人たちは筋肉痛になっているのに、自分だけ筋肉痛が出ない。

やり方がおかしいのか？自分だけ真剣にやっていないのか？と悩んでいるところ、右肩が痛くなり、来院となる。

身体を診るところ、60代とは思えないほど、筋肉がついている。

この筋肉で、今まで何も運動を経験していないというのが、不思議なくらいの身体をしている。

ところが、手足を動かしてみると、必要異常に動かない。

身体全体が、筋肉の鎧となって、まったく身動き取れないようになっている。

これだけ、固まっていると、高血圧や胃潰瘍、脂肪肝等が気になるところ。

すると、この患者さん、全て経験済みということである。

さらに、糖尿病も持っているとのこと。

これでは、筋力トレーニングよりも、むしろストレッチに時間をかけ、十分に、今ある筋肉を使える状態にしなければならぬ。

そこで、運動針といって、全ての関節運動を行いながら、それぞれの関節の動きを制限しているところへ鍼を行いながら、関節の可動域を広げる施術を全身に行った。

全てを終え、起き上がってもらおうと、「あら！」と、立ってられない様子。

「身体がゆるみ過ぎて、どこを視点に立てばいいか分からなくなっちゃった。」と悲しそうな表情をしていたので、「少しお茶を飲みながら、ゆっくりしてってください。」と言

って、ソファーに腰掛けてもらった。

すると、すぐに「ああ！眠くなっちゃったあ！このまんま眠りた〜い！」と言いながら、今にも目が閉じそうになっていた。

お茶を飲み終え、立ち上がってみると、「ああ！楽になりました。」と言った後、「肩の痛みはどうですか？」と聞くと、「あっ！すっかり忘れてた。でも、痛くないみたい。」と言って、満足そうにしながらも、今にも寝てしまいそうだった。(笑)

この10数年間、健康指向が広がり、スポーツジムへ通う人が増えてきた。

しかし、この患者さんのように、筋肉を持っているのに、



さらに鍛えようとしている人たちが多く見受けられる。

筋肉は、あれば良いというものではなく、筋肉を多く持っていることで、身体を痛めつけてしまうことも少なくない。

筋肉は、《伸びる》、《縮む》、この二つが揃って、初めて本来の機能を果たすことができる。

従って、パワーを付けるための筋力トレーニングも必要だが、柔軟性を高めるストレッチは、もっと重要なのである。

固い筋肉は、命を縮める。

柔らかい筋肉は、寿命を延ばす。

どちらを選ぶかは本人次第である。

## ❖ 4 : 緊張から来る肩こり

40代 男性

肩が異常なほど固まっていて、力が抜けない感じと来院。

まず、うつ伏せで身体をチェックすると、まったく肩に固さが感じられない。

しかし、聞いてみると、うつ伏せでも固まっている感覚はあるとのこと。

これは、筋肉の問題ではなく、肩と関連する内臓に問題があるケースである。

そこで、肩に症状を出しやすい、心臓と胃のツボを探って

みると、どちらも非常に反応が強い。

この二つが同時に反応している時は、必ず、強い緊張感がある時である。

そこで、私「最近、何か緊張するようなことありましたか？」

患者さん「実は、今まで、会社でミスらしいミスを、経験したことがなかったんですが、先日ビッグプロジェクトを進めている最中に、大変なミスをしてしまったんです。こんなミスをするなんて…。」

私「この身体の状況では、緊張感から睡眠もとれなくなると思うんですが・・・。」

患者さん「もう眠れなくなってます。」

こういう時は、肩はおいといて、心臓と胃の興奮を収めることが重要。

お灸で、関連のあるツボに刺激を与えていくと、いつの間にかスヤスヤ、眠り始めた。

大分緊張がほぐれた証拠である。

治療を終え、立ち上がってもらおうと、「雲の上にいるみたいです。」と、相当身体がゆるんだことを喜んでいた。

しかし、ミスのカバーしなければ、まだまだ固まってしまう可能性がある。

そこは、私にできることではないので、患者さんに頑張ってもらおうしかない。

「早く解決しますように！」

## ❖ 5 : 鞆を肩にかけて肩こり

20代 女性

常に肩がこっていて、昔から右肩の方がつらくなりやすく、  
マッサージや鍼灸で治してきた。

しかし、原因はいまだ分からず、納得できないことからブ  
ログを見て、当院ならばと来院。

まず、うつ伏せで肩を触ると、右側だけ固くなっているの  
がわかる。

それも、筋肉全体に凝っているわけではなく、筋肉の一部  
だけが凝り固まっている。

これは、この凝っている場所を強く押す癖があるか？マッサージで押しってもらうか？重い鞆をかけているか？のどれかである。

マッサージは強く押されるのが嫌なので、強くされることはほとんどないとのこと。

ただ、鞆はいつも非常に重たく、いつも右肩にかけているらしい。

ということは、この鞆の持ち方が原因のようだ。

まず、この固さを取り除くことが重要だが、その後には、必ず、肩甲骨の滑りを良くする必要がある。

肩甲骨は、肋骨の上を滑るように動く骨であるが、肩をほ

とんど動かさないでいると、この滑りが悪くなるのだ。

しかも、靴を常にかけている側の肩甲骨は、靴を落とさないように固定させる意味で、上に上がった位置で固まっていることが多い。

骨が動かなければ、周りの筋肉も動かないため、血液循環が悪くなり、肩こりを強く感じるようになる。

そのため、整体で肩甲骨の動きを滑らかにするような操作を行う。

次に、肩の凝っている部分をほぐすように鍼を行う。

このような治療を行っている間に、胃腸の反応を見つける。

その事を聞いてみると、最近下痢気味であるとのこと。

ついでに、こちらの鍼治療も行った。

今回の凝っている場所は、胃の緊張（胃炎や胃潰瘍など）がある時に、固くなる場合もある場所。

逆に、この場所が長く凝っていることで、胃腸に負担を与えることもある。

そのためにも、正す必要があった。

これで、立ち上がってもらおうと、「肩、軽う！お腹も軽くなったみたい。」と喜んでいた。

ただ、治療はこれで終了にはならない。



始めに書いたように、肩甲骨の滑りを改善し、維持できるようにしなければ、またいつ凝ってしまってもおかしくない。

そこで、水泳の動きを利用して、クロール、背泳ぎ、バタフライなどの動きを、毎日大きくゆっくりと行うように指導した。

これらの動きを毎日行っていれば、ほぼ肩甲骨周りの筋肉が活性化し続けるため、固まって血行障害を起こすこともなくなれば、凝ってつらくなることもなくなるだろう。

肩こりで悩んでいる方は、一度試してみてもいいだろうか？

❖ 6 : 久し振りに車を運転し、疲れてしまった。

70代 女性

何年か振りに車を運転し、全身が固まってしまった。

特に肩こりが強く、精神的にも緊張が続いたため、非常に疲れている。

まず、うつ伏せで、脈診を行う。

疲れと冷えが非常に強く脈に表れている。

お灸で疲れを取った方が先か？

鍼で芯から固まっているところをほぐしていった方が先か？

悩むところだが、首の歪みもあることから、疲れを取りつつも、芯の固さをほぐしながら、首の歪みを正すような鍼を行うことにした。

鍼治療を始めると、足首も固まっていたことに気付く。

本人は全く気にしてなかったらしいが、よっぽど運転中に、アクセルか？ブレーキか？で緊張していたのが伺える。

この固さも取り除き、立ち上がってもらおうと「うわぁ！気持ち良かったぁ！」と温泉から上がってきたような、気持ち良さの表現に、こちらが嬉しくなってしまった。

今回のように、久し振りだったり、初めて経験するようなことがあると、精神的緊張から、筋肉に力が入ってしまい、いたる所が凝ってしまうもの。

そういうときには、なるべく

◎歯を噛み合わせず、少し隙間を作っておく。

◎深呼吸を頻繁に行う。

◎終わった後に、ラジオ体操などで全身をほぐす。

◎その日のうちに、ゆっくりを入浴し、芯の固さをほぐす。

◎ほんの少しだけ、アルコールを摂り、血液循環を良くしておく。

（飲み過ぎると、血液循環が悪くなり、返って冷えを作ってしまう。少し身体が温まった程度で終わりにすることがポイントである。）

などを、心がけるといいと思います。

## ❖ 7 : 肩が動きにくい

30代 男性

最近ずっと、両肩の動きが悪く、特に左肩は、どこかで引っ掛かっているような感じがする。

1週間後に、トライアスロンへ参加する予定のため、何とかならないものかと来院。

まず、立ったままで動きを確認。

目立って動きが悪い感じはない。

次に、うつ伏せで、背中の中触診を行う。

すると、両側の肩甲骨が動きにくくなっているのがわかる。

そこで、肩甲骨の滑りを良くするような整体を行い、その柔らかさに合った身体に整えていく。

これで起き上がってもらおうと、「肩が軽い。全体が楽になったみたいです。」とスッキリした表情で答えてくれた。

この方のように、スポーツをやられていて、何らかの症状が出ている時は、筋肉の柔軟性を上げることを念頭に置いて、施術を行っていくと効果が高い。

今回のケースも、肩甲骨の固さを、筋肉によるものとして考え、整体していくことで、見る見るうちに動きが改善していった。

症状の背景に、どのような職業で、どのような原因で、どのような時に症状が出るのか？

もしくは、同じような症状が出やすいか？初めてか？

と言うところをしっかりと問診しておく、施術の目安も立ちやすいのである。

## ❖ 8 : ストレートネックで改善不能と言われた腰痛・肩こり

30代 女性

昔から、首こり、肩こり、腰痛が強く、何度か病院で診てもらったが、どこでも、ストレートネックだから仕方ないと言われ、ほぼあきらめている状態。

しかし、家族が当院で治療を受け始めて、良くなっていくところを目の当たりにし、来院を決意。

まず、うつ伏せで全体をチェックしたあとに、私が言った一言

「これは、ストレートネックではなくて、背骨が全部真っ



直ぐですよ。」

患者さん「ええ～！！じゃあ、ストレートネックよりひどいってことですか？」

私「というより、首だけ治しても、治らない首ということ  
です。元は腰ですからね。」

背骨を横から見ると、軽いS字状にカーブしているのが、  
生理的湾曲と言って、一番身体に負担のかからない体勢で  
ある。

ところが、この方のように真っ直ぐな背骨になってしまう  
と、頭の重さが全て背骨上に押し掛かってしまい、疲労感  
が生まれやすくなってしまふのだ。

さらに、この方の場合、脈からも脚の触診からも、子宮に弱さがありそうである。

そのためにも、腰の形をしっかりと整える必要があるのだ。

まず、弱くなっている筋肉をお灸で正してから、整体を行うことにした。

すると、全ての元凶は、腸腰筋（大腰筋と腸骨筋からなる筋肉で、主に背骨の支え役となる筋肉。）にあることが診えてきた。

従って、腸腰筋の状態を正常に戻すための操作を十分に時間をかけて行った。

ほとんど肩や首を触っていないが立ち上がってもらおうと、

「何か違う！何か軽い感じ！！肩がすごい楽です！！！」

と、段々とテンションが上がりながら、楽になっているこ

とを実感していた。

ただ、問題はここからで、腸腰筋を動かせば楽になることは分かった。

しかし、普段の生活で、腸腰筋を動かす動作はほとんどな  
いに等しい。

そのため、この筋肉を動かす運動を行ってもらうことにし  
た。

やることは、もも上げと後ろへ蹴り出すだけである。

この筋肉がしっかりしてくれば、背骨に湾曲が作られ、症  
状も落ち着くだろう。

そして、子宮がしっかりしてくれば一安心である。

## ❖ 9 : 疲労による不眠と首肩のこり

20代 女性

半年前に、会社の部署が変わり、非常に忙しくなる。

それとともに、疲れ過ぎなのか眠れない日が増え、首や肩こりを感じるようになった。

そして、日に日に症状が重くなっているので来院した。

まず、うつ伏せで全体のチェックを行う。

背骨の両側はパンパンに張っていて、全く筋肉に余裕がなくなっている状態である。

しかし、脈にはそれほど問題がないため、整体を行うことにした。

身体を動かしていくと、意外と簡単に筋肉がほぐれていく。

どうやら、部署が変わったことと、仕事が忙しいことで、自然と身体に力が入り続け、緊張が抜けなくなっているだけのようである。

そのため、軽めの整体を全体に行っただけで、スッキリとつらさがなくなった。

ところが、1カ月後に、2度目の来院。

首が痛くて動かせないということである。

前回後から、ずっと痛みが出ているのかを聞くと、2週間ほどは嘘のように楽だったし、睡眠もとれていたらしい。

しかし、少しこりが出てきたので、また、マッサージを受けようと、近所のマッサージ店へ行くと、当院で受けたマッサージとは違い、ゴリゴリ押されたらしい。

その翌日から、全く首が動かなくなったとのこと。

このように、マッサージはマッサージでも、施術をしている先生ごとに、やり方は様々で、得意分野も違う。

そのため、自分に合う先生を探しておく必要があるだろう。

そして、鍼灸、整体、マッサージの分野は、受けてみないと、自分に合うかどうかわからないという怖さもある。

今回の方のように、よくなる場合と、かえってひどくなる場合がある。

あらかじめ、どのような治療を行っているか？どのような症状が得意か？を調べておくか、知人からの情報を多く得ておく必要があるそうさ。

## ❖ 10 : ラグビーかマウスで肩を痛める

40代 男性

いつからか定かではないが、右肩から肩甲骨周りにかけて痛む。

さらに、肩を回すとゴリゴリなるようになった。

昔はこんな音出たことないので、どこかが狂っているはずと来院。

いつも右肩が上がっているのに、歪みも強いはずとのことだったが、うつ伏せでは、左肩の方が上がっている。

しかし、右首はかなり筋肉が緊張しているため、この影響



で右肩が上がっているように見えているのだろう。

私の整体では、特別どちらに歪んでいるということは、大して重要ではない。

大事なのは、その関節に動きがあるかどうかである。

このような筋肉の緊張がある場合、姿勢の問題か？外傷によるものか？というところだが、この患者さんは、ラグビーをいまだ現役でプレーしている。

ということは、外傷である可能性が高い。

しかし、仕事では、一日中マウスを握りしめているということであるから、こちらの問題も外せない。

どちらの問題にせよ、筋肉と骨と関節の関係が、著しく狂っていないければ改善できるもの。

そこで、整体を行い、これらの機能がどれだけしっかりしているのか、確認することにした。

身体を動かしていくと、意外と固まっていた筋肉があっさりとは緩んでくれる。

そのため、肩の動きも首の緊張も、整体のみで調整が終わった。

立ち上がってもらい、肩を回してもらうと、痛みもなく音も鳴らなくなっている。

ラグビーもマウスも、原因としては考えられるが、いまだ

にスポーツで身体を動かしていることが功を奏し、固まっていた関節や筋肉を簡単にほぐすことができた。

このような筋肉の質を持っている人は、スポーツを長くプレーしている人に多い。

しかし、有効に使えている人は、意外と少ないように思う。

こまめにメンテナンスをするか、水泳やヨガなどで、常に柔らかい筋肉を維持できるようにしていれば、今回のようなつらさは出ないはず。

この患者さんにも、そのようなことを伝え終了としたが、自分自身がどのような筋肉の質であるかを知る機会が、ほとんどないのは悲しいことである。

## ❖ 1 1 : 肩こりが小さい頃から治らない原因は肝臓が…？

肩こりが小さい頃からずっとあり、ほぼ消えていた時期がないという。

特別治療を受けたことはなく、最近では、ヨガを習い始め、身体は動かしている。

しかし、肩こりに関しては、まったく変化していないとのこと。

そして、根本から治すためには、何がいいのか考え、いろいろな治療方法を持っている当院を選んで来院したとのこと。

うつ伏せで、身体全体のチェックをすると、全体が固まって縮まっているような感じ。

特に、首から肩、そして肩甲骨周りは、筋肉が動く余裕がないほど固まっている。

脈をチェックすると、かなり弱い脈。

背中 of 皮膚も全く余裕がないため、お灸で緩めていくことにした。

しかし、なかなか緩まない。

このようなときは、腹部が固まっていることが多いので、仰向けになってもらい、腹部を触ってみると意外に柔らかい。

骨盤を動かしてみると、がっちり固まって、微動だにしない。

悪いところはあるが、根本部分が見えてこない。

横向きになってもらうと、ようやく反応が出てきた。

それは、太ももの外側。

他の部位と比べて、異常にむくみがたまっている。

ここは、肝臓の反応が出る場所。

従って、肝臓の異常がないかを聞いてみると、胆石の手術をしたばかりだという。

これは、関連がありそう。

しかし、昔から肩こりがあるので、胆石が根本ということではないが、とりあえず、太もものむくみを流すためにお灸を行った。

すると、嘘のように背中から肩にかけて緩んできた。

そして、太ももの延長線上を触っていくと、

「そういえば、昔からよくそこは痛くなるんですね！」

ちょうどその場所も肝臓と関連のある場所。

やはり、肝臓の影響で、肩こりは出ているようだ。

昔から、視力が悪く、運動もほとんどしていないということもあり、体質的に肝臓が弱い状態で育ってきたようだ。

であれば、深呼吸をしっかりと身につけ、常に肝臓へ血液が流れていく身体を作らなければならない。

ここは、本人に頑張ってもらおうしかない。



# もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、  
全102ページ、販売価格1,980円

## あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを無料でプレゼントさせていただきます。  
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。  
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。  
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス  
キュアハウス鍼灸治療院  
院長 中村幸生